



数百のプロジェクトに跨がった 請求システムをセキュアに運用する方法

松原 優

株式会社 grasys

Cloud infrastructure Division

Ops Team Leader

草間 一人

HashiCorp Japan 株式会社

Senior Solutions Engineer

スピーカー自己紹介



松原 優

株式会社grasys
Cloud infrastructure Division
Ops Team Leader

2020年5月に grasys へ入社。現在はプレイヤーとしてインフラ構築・運用をしつつメンバーのサポートを行っている。

grasys 入社以前はゲーム業界でフロントエンドやバックエンドの開発に関わる。

会社紹介



gracias + system

「もっと強固なインフラに」

社名	株式会社 grasys
創業日	2014 / 11 / 13
代表	長谷川 祐介
資本金	1,000 万円
社員数	40 名
所在地	恵比寿

事業規模



エンドユーザー数	累計 3 億超ユーザー
クラウドプロジェクト数	200 プロジェクト
VM インスタンス運用実績	4,500 台／月
最大稼働インスタンス数	2,200 インスタンス／システム
1 秒間のリクエスト回	200 万回／秒
ビッグデータの分析基盤	120 兆レコード／日
データストリーミング分析	2,000 ノード
分散データベース	280 ノード

パートナー



Google Cloud



PF 統合管理



検索・監視・セ
キュリティ



超高機能・高速
CDN



セキュリティ PF



データ分析 PF

攻めのインフラ

オーケストレーションを母体とし

運用を意識したシステム設計・構築

作業効率の向上



Google Kubernetes
Engine



請求システムについて

なぜ請求システムが必要だったのか

- Google Cloud プレミア Service パートナーとして 200 を超えるプロジェクトを管理
- プロジェクト毎の使用リソースを元に運用費計算



自動システム化

なぜ請求システムが必要だったのか

- インフラの会社だからこそ社内のインフラは運用したくない
- 運用コストを下げたい



Google Kubernetes Engine

なぜ請求システムが必要だったのか

- 顧客情報を含むデータの通信
- dynamic に認証情報を生成したい

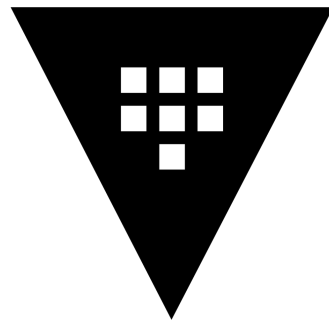


HashiCorp Vault を利用した
セキュアなシステム

HashiCorp Vault とは

ざっくりと

API の暗号化キー、パスワード、証明書データベース
クレデンシャル といった情報を安全に管理できます。



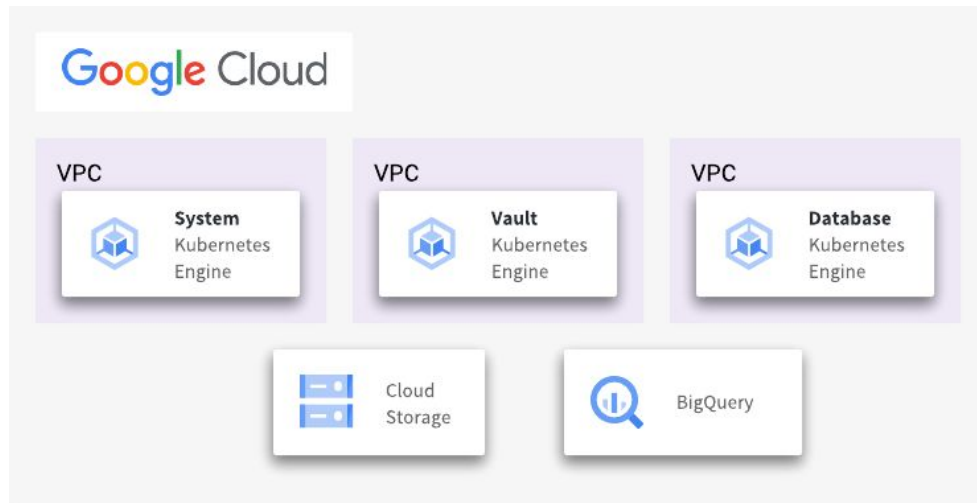
HashiCorp
Vault



請求システムの構成と HashiCorp Vault の利用事例

請求システムの全体構成

1. 請求システム用 / Vault 用 / Database 用の3つの Kubernetes Engine
2. Cloud Storage
3. BigQuery
4. クラスタは互いに VPC Peering によって接続



請求システムの処理の流れ

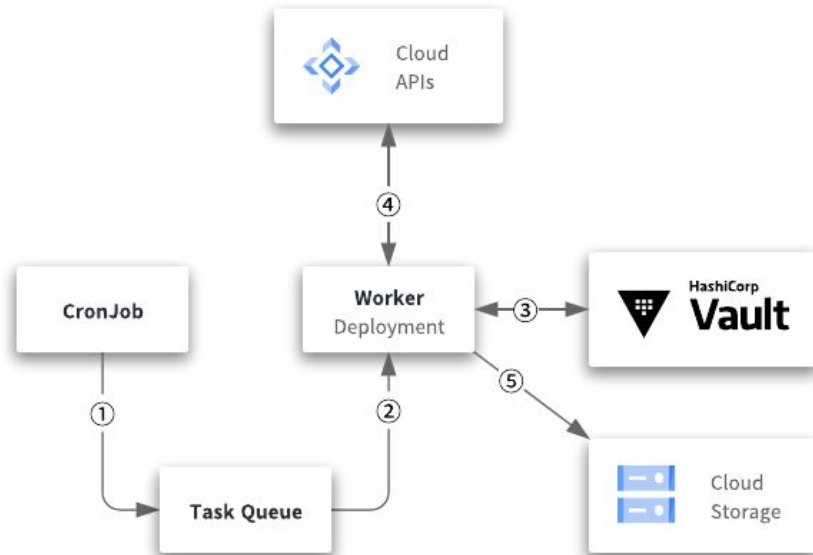
01 | プロジェクトのリソース情報の取得

02 | プロジェクトのリソース情報を CRM へ

03 | CRM から帳票管理サービスへ

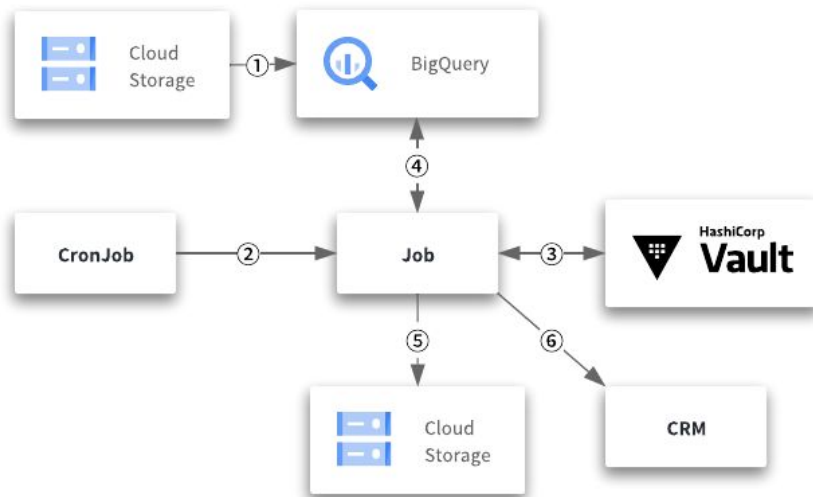
プロジェクトのリソース情報の取得

1. CronJob による定期実行
2. Task Queue から Job 取得
3. Vault で Google Cloud サービスアカウントの
トークン取得
 - a. Google Cloud Secrets Engine
4. Cloud APIs へ問い合わせ
5. Cloud Storage にアップロード



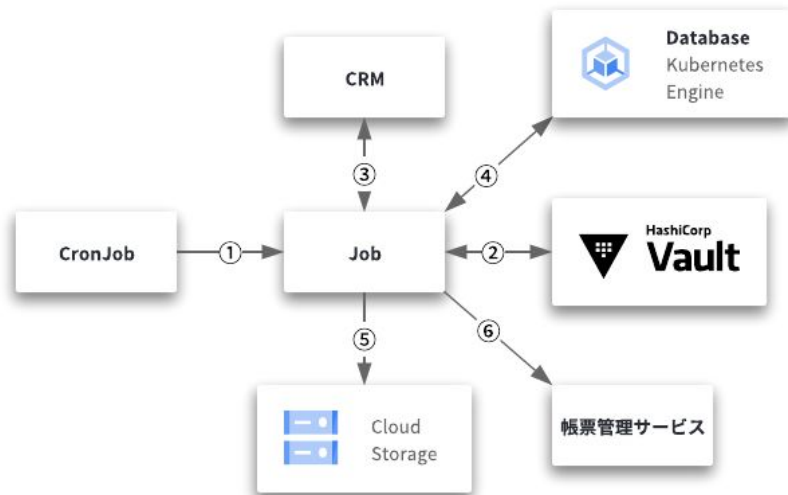
プロジェクトのリソース情報を CRM へ

1. Cloud Storage から BigQuery にデータをロード
2. CronJob による定期実行
3. Vaultでトークン発行
 - a. KV Secrets Engine
4. BigQuery から集計データ取得
5. Cloud Storage にアップロード
6. CRM REST API



CRM から帳票管理サービスへ

1. CronJob による定期実行
2. Vault でトークン発行 / クレデンシャル生成
 - a. KV Secrets Engine
 - b. Database Secrets Engine
3. CRM REST API
4. DataBase からマスターデータの取得
5. Cloud Storage にアップロード
6. 帳票管理サービス REST API



Google Kubernetes Engine と HashiCorp Vault を使って セキュアな請求自動システムを運用

運用してみて

- 先日トラブルが発生、それまではメンテなしで運用できていた
- 運用コストを下げることに成功

よりコストダウンする方法

- プリエンプティブル VM
- Spot VM (pre-GA)
- Google Kubernetes Engine Autopilot
 - Spot Pod



実際に動くところ、
見てみたいですよね？

ここからは、わたしがお話しします



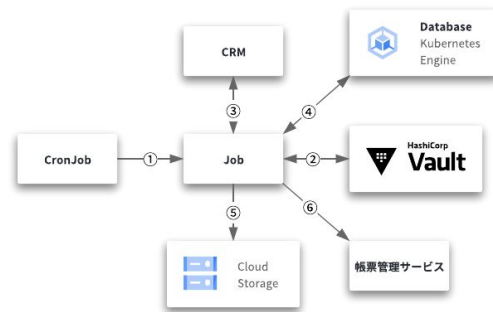
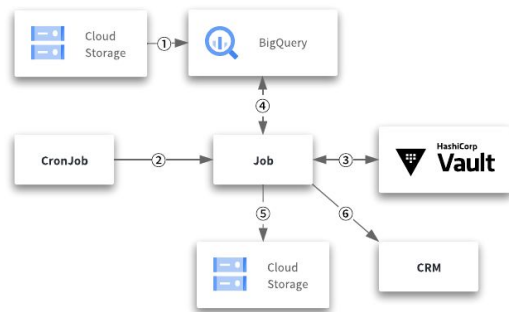
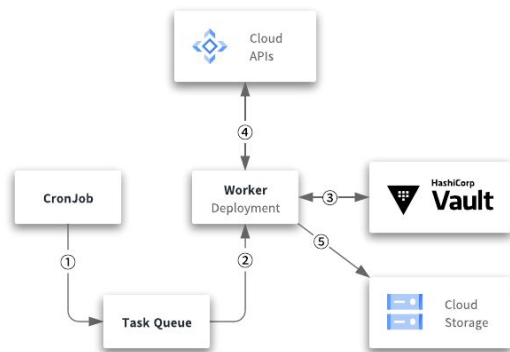
草間 一人

HashiCorp Japan 株式会社
Senior Solutions Engineer

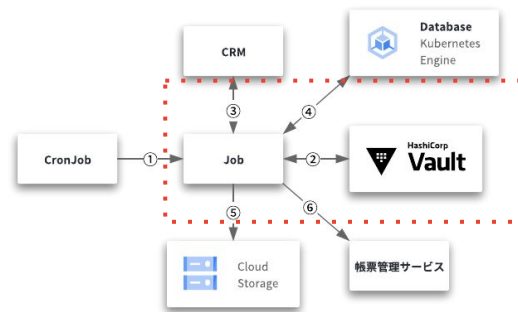
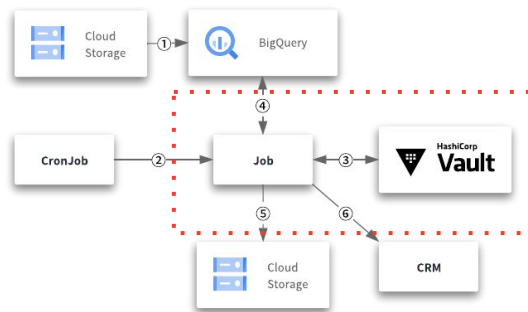
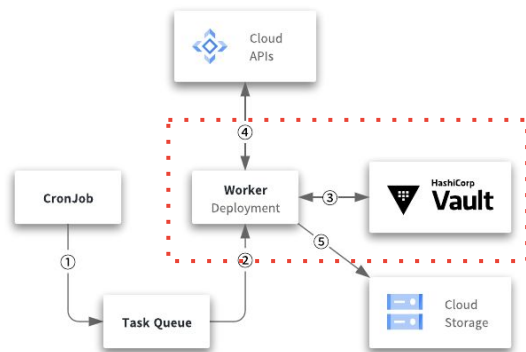
HashiCorp の Senior Solutions Engineer として、Terraform や Vault、Consul などのプリセールスに携わるエンジニア。

プライベートの活動として、日本最大のクラウドネイティブ技術のカンファレンス CloudNative Days の Co-Chair も務めています。

再掲



再掲





動画あり:視聴ページをご覧ください

Thank you.

